

# 道徳の内容項目と「深い学びのキーワード」一覧

「深い学びのキーワード」は、鳥 恒生 先生（畿央大学大学院教授）が、小学校、中学校の「学習指導要領解説」や参観した授業・研究協議などを基に考案したものです。道徳の内容の解釈には多様な見方が大切なことにご留意いただきながら、各内容項目や発達の段階のポイントをつかむ参考としてご覧ください。

4つの視点	深い学びのキーワード	小学校		小学校・低学年（19項目）		小学校・中学年（20項目）		小学校・高学年（22項目）		中学校		中学校（22項目）	
		内容項目	深い学びのキーワード	内容項目	深い学びのキーワード	内容項目	深い学びのキーワード	内容項目	深い学びのキーワード	内容項目	深い学びのキーワード		
A 主として自分自身に関する事	「自分との闘い」	(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任	よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。	「よいことと悪いこと」「喜び」	正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。	「やればできる」「自信」	自由を大切に、自律的に判断し、責任のある行動をすること。	「自由と責任」	(1) 自主, 自律, 自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	「逃げない心」「誇り」「誇りから生まれる誠実さ」		
		(2) 正直, 誠実	うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活すること。	「モヤモヤとすっきり」	過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。	「自分を偽らない」「自分に正直」	誠実に、明るい心で生活すること。	「自分に対する誠実さ」	(2) 節度, 節制	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。	「ほどよさを自分でコントロール」		
		(3) 節度, 節制	健康や安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。	「よい生活習慣の気持ちよさ」	自分でできることは自分でやり、安全に気を付け、よく考えて行動し、節度のある生活をする。	「自分でしっかり考える」	安全に気を付けることや、生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心掛けること。	「自分を見つめる」	(3) 向上心, 個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	「未来の自分を輝かせるのも自分」		
		(4) 個性の伸長	自分の特徴に気付くこと。	「自分のよいところ」	自分の特徴に気付く、長所を伸ばすこと。	「よさは伸びる」	自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。	「自分磨き」	(4) 希望と勇気, 克己と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる。	「自分の弱さに打ち克つ」		
		(5) 希望と勇気, 努力と強い意志	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。	「頑張った喜び」	自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志を持ち、粘り強くやり抜くこと。	「もっとよくなりたい」	より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	「目標に向かって確かな一歩」	(5) 真理の探究, 創造	真理を大切に、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	「真理の探究が人生を豊かに」		
		(6) 真理の探究											
B 主として人との関わりに関する事	「相手のことを最大限に大切に」	(7) 親切, 思いやり	身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。	「温かさ」「相手のこと」	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	「相手の気持ち」	誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。	「相手の立場」	(6) 思いやり, 感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	「さりげなさ」「見ようとしないう自分の弱さ」		
		(8) 感謝	家族など日頃世話になっている人々に感謝すること。	「ありがとうがいっぱい」	家族など生活を支えてくれたり、現在の生活を築いてくれた高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。	「ここまで私たちのことを」	日々の生活が家族や過去の多くの人の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えること。	「つながりに守られて」	(7) 礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	「TPOと自分の心」		
		(9) 礼儀	気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。	「あいさつパワー」	礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。	「心を届ける」	時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。	「心と形」	(8) 友情, 信頼	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達を持ち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	「互いのプライドの尊重」		
		(10) 友情, 信頼	友達と仲よくし、助け合うこと。	「仲よしいいな」	友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。	「双方向の信頼」	友達と互いに信頼し、学び合って友情を深め、異性についても理解しながら、人間関係を築いていくこと。	「磨き合い、高め合い」	(9) 相互理解, 寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	「頑なな自分と開く自分」		
		(11) 相互理解, 寛容			自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。	「自分と相手は違う考え」	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	「違いは豊かさ」	(10) 遵法精神, 公徳心	法やまじりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	「法やまじりは自分たちが作ったもの」		
C 主として集団や社会との関わりに関する事	「集団の中に自分もいる。自分も仲間の一人」	(12) 規則の尊重	約束やまじりを守り、みんなが使う物を大切にすること。	「みんながよい気持ち、みんながいやな気持ち」	約束や社会のまじりの意義を理解し、それらを守る。	「みんな同じ思いや願いがあるから」	法やまじりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に、義務を果たすこと。	「権利があるから義務がある」	(11) 公正, 公平, 社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	「閉じた正義と開かれた正義」		
		(13) 公正, 公平, 社会正義	自分の好き嫌いとらわれないで接すること。	「仲間はずれがないと、みんな楽しい」	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。	「みんな、仲間」	誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。	「仲間の問題は、自分たちの問題」	(12) 社会参画, 公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	「集団や社会の主人公」		
		(14) 勤労, 公共の精神	働くことのよさを知り、みんなのために働くこと。	「働くことの喜び」	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこと。	「みんなの役に」	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに、その意義を理解し、公共のために役に立つことをすること。	「社会の役に」	(13) 勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	「自分が社会の力にという喜びと誇り」		
		(15) 家族愛, 家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つこと。	「家族の役に立つ喜び」	父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。	「家族の一人として」	父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをすること。	「家族それぞれの立場から思いを考えて」	(14) 家族愛, 家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	「家庭生活を築く主体として」		
		(16) よりよい学校生活, 集団生活の充実	先生を敬愛し、学校の人々に親しんで、学級や学校の生活を楽しむこと。	「学校は楽しい」	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	「自分たちの学級」	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくること、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	「自分たちの集団や学校らしさ」	(15) よりよい学校生活, 集団生活の充実	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくること、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	「校風や集団の誇りをつくる」		
		(17) 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。	「私たちの自慢」	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、国や郷土を愛する心をもつこと。	「自分たちの地域」	我が国や郷土の伝統と文化を大切に、先人の努力を知り、国や郷土を愛する心をもつこと。	「伝統や文化にある先人の思い」	(16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	「地域社会の形成者」		
		(18) 国際理解, 国際親善	他国の人々や文化に親しむこと。	「他国と接する楽しさや親しみ」	他国の人々や文化に親しみ、関心をもつこと。	「文化の違い」	他国の人々や文化について理解し、日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。	「国際親善は自分から」	(17) 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	「我が国の形成者」		
		(18) 国際理解, 国際親善								(18) 国際理解, 国際貢献	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	「同じ人間として自分にできること」	
D 主として生命や自然に関する事	「ちっぽけだけど、とても大きく重く、大きなもの」	(19) 生命の尊さ	生きることのすばらしさを知り、生命を大切にすること。	「生きているから」	生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすること。	「一つしかない命、支えられている命」	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重すること。	「つながりの中にある重さ」	(19) 生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	「広く、深いつながり」		
		(20) 自然愛護	身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接すること。	「動植物と仲よし」	自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすること。	「自然のもつ力」	自然の偉大さを知り、自然環境を大切にすること。	「自然と共に生きる」	(20) 自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	「自然に生かされている人間」		
		(21) 感動, 畏敬の念	美しいものに触れ、すがすがしい心をもつこと。	「目の前に広がる美しさやすごさ」	美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	「心で感じる美しさやすごさ」	美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。	「人間の力を超えたものの美しさやすごさ」	(21) 感動, 畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	「感動は人を成長させる」		
		(22) よりよく生きる喜び								(22) よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	「弱さを強さに」	

※内容項目は「小学校学習指導要領」「中学校学習指導要領」（平成29年告示）文部科学省による  
 ※「深い学びのキーワード」は『道徳科「深い学び」のための内容項目ハンドブック』日本文教出版による  
 本資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則り、配布を許可されているものです。

本資料のデータは、弊社ウェブサイトからもダウンロードできます。  
<https://www.nichibun-g.co.jp/data/education/e-other/e-other039/>  
 ※リンク先コンテンツは予告なく変更または削除する場合があります。

